



ES1008V

マネジメントガイド

目次

1.	コンソール接続	1
1.1	接続手順.....	1
1.2	ログインパスワード.....	1
2.	コンソールプログラム	2
2.1	メインメニュー (Main Menu).....	2
2.2	システムコンフィグレーション (System Configuration).....	3
2.3	ポートステータス・設定 (Port Status/Configuration).....	4
2.4	VLAN 設定 (VLAN Config).....	6
2.5	トランク設定 (Trunk Config).....	7
2.6	ポートミラーリング設定 (Mirror Config).....	8
2.7	リセット・セーブ (Reset and Save).....	9

1. コンソール接続

1.1 接続手順

本機のコンソールポートと PC をコンソールケーブルを用いて接続し、本機の設定及び監視を行うことができます。PC 側では VT100 準拠のターミナルソフトウェアを利用して下さい。PC を接続するためのコンソールケーブルは、本機に同梱されているケーブルを使用して下さい。

手順:

- ① コンソールケーブルの一方を PC のシリアルポートに接続し、コネクタ部分のねじを外れないように止めます。
- ② コンソールケーブルのもう一方を本機のコンソールポートに接続します。
- ③ パソコンのターミナルソフトウェアの設定を以下の通り行ってください:

通信ポート ----- コンソールケーブルが接続されているポート
(COM ポート 1 又は COM ポート 2)

エミュレーション -- VT100

通信速度 ----- 9600 ボー(baud)

データビット ----- 8bit

パリティ ----- なし

ストップビット ----- 1bit

フロー制御 ----- なし

1.2 ログインパスワード

本機のログインパスワードは初期設定では、“admin”に設定されています。

コンソールからパスワードの変更が可能です。

2. コンソールプログラム

2.1 メインメニュー (Main Menu)

ログイン後、はじめに下記のメインメニューが表示されます。

```

MAIN MENU
=====
System Configuration
Port Status
VLAN Configuration
Trunking Configuration
Port Mirror Configuration
Reset and Save
Exit

Use Arrow or Tab key to move.<SPACE>to select.<ESC>to escape.<Enter>to confirm.

```

本製品はメインメニューで表示される下記の管理機能を有しています。

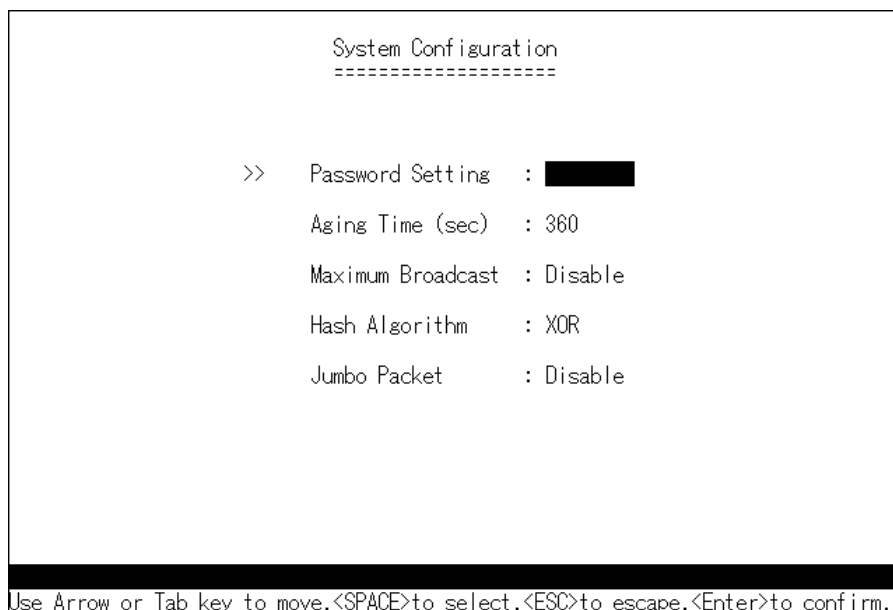
項目	機能
System Configuration	エージングタイムなどシステムの基本設定を行うことができます。
Port Status	各ポートのオペレーションステータスの確認と通信速度、通信方式、フローコントロールの設定を行うことができます。
VLAN Config	VLAN の設定と確認ができます。本機では最大 8 グループのポートベース VLAN をサポートします。
Trunking Config	ポートランク機能の設定と確認ができます。本機では最大 2 ポートのトランクグループを 2 グループサポートします。
Port Mirror Config	ポートミラーリングの設定と確認ができます。ポートミラーリングにより各パケットのモニターを行うことができます。
Reset and Save	本機のリセット及び設定の EEPROM への保存ができます。

本製品のコンソールプログラムは下記のキー操作により設定を行うことができます。

キー	機能
<TAB>	次の設定項目に移動します。
<ESC>	前のメニュー画面に戻ります。
<Enter>	設定の決定をします。
<Space Bar>	設定項目の値を変更します。

2.2 システムコンフィグレーション (System Configuration)

システムコンフィグレーションメニューでは本機の各種設定を行うことができます。



項目	機能
Password Setting	新しいパスワードを入力することにより、パスワードの変更が行えます。 初期設定: admin
Aging Time (Sec)	MAC アドレスエントリーのエイジングタイムを 300/360/Disable に設定できます。Disable に設定すると MAC アドレステーブルのエイジングを行わなくなります。 初期設定: 360
Maximum Broadcast	Maximum Broadcast 機能を 32/48/64/ Disable に設定できます。32/48/64 に設定をすると、1 秒あたりにそれぞれの値以上のブロードキャストを受信すると、それ以降のブロードキャストパケットは破棄されます。 初期設定: Disable
Hash Algorithm	MAC アドレステーブルの検索方法 XOR/Linear に変更できます。初期設定“XOR”では高速検索が可能ですが、MAC アドレスサイズ数が減少する場合があります。通常は初期設定の“XOR”で構いません。 初期設定: XOR
Jumbo Packet	jumbo frame 機能を 9K/12K/ Disable に設定できます。通常の 1.5K(1518byte)サイズのフレームよりも大きい 9K(9216byte)/12K(12288byte)のフレームを用いる jumbo frame 機能は通常よりも多いデータ転送を行うことができ、ネットワークパフォーマンスを向上させることができます。 初期設定: Disable

2.3 ポートステータス・設定 (Port Status/Configuration)

ポートステータス・設定メニューでは、各ポートの通信速度(10/100/1000Mbps)、通信方式(Full/Half Duplex)、フローコントロールの有効/無効のステータス確認及び設定を行えます。

Port Status =====			
Port #	Link	Mode	FlowCtrl
1	Off	-----	---
2	On	100half	On
3	Off	-----	---
4	On	100full	On
5	Off	-----	---
6	Off	-----	---
7	Off	-----	---
8	Off	-----	---

<< Press any key to stop refresh and Enter to Config or ESC to Leave. >>

Use Arrow or Tab key to move.<SPACE>to select.<ESC>to escape.<Enter>to confirm.

ポートステータス(Port Status)画面からポート設定(Port Config)画面へは、[Enter]キーにより移動することができます。

また、ポート設定画面では、[Space]キーにより各項目の設定を行うことができます。

Port Config =====			
Port #	Admin	Mode	FlowCtrl
1	On	Auto	On
2	On	Auto	On
3	On	Auto	On
4	On	Auto	On
5	On	Auto	On
6	On	Auto	On
7	On	Auto	On
8	On	Auto	On

<< Enter to Refresh ! >>

Use Arrow or Tab key to move.<SPACE>to select.<ESC>to escape.<Enter>to confirm.

項目	機能
Link (Status 画面)	ポートの有効(On)/無効(Off)の確認ができます。
Admin (Config 画面)	Offにするとポートをシャットダウンします。
Mode (Status/Config 画面)	通信モード(Auto, 1000Full, 100Full, 100Half, 10Full, 10Half)の確認/設定ができます。 初期設定: Auto
FlowCtrl (Status/Config 画面)	フローコントロールの有効(On)/無効(Off)の確認/設定ができます。 初期設定: On

設定例:

3番ポートを FullDuplex/1000Mbps/フローコントロール:有効に設定する場合、下記の手順で設定を行います。

1. ポートステータス(Port Status)画面から、any キーでリフレッシュを止めた後、[Enter]キーを押してポート設定(Port Config)画面に移動します。
2. [Tab]キーで3番ポートの“Admin”項目に移動します。
3. [Space]キーで“On”を選択します。
4. [Tab]キーで“Mode”項目に移動します。
5. [Space]キーで“1000Full”モードを選択します。
6. [Tab]キーで“FlowCtrl”項目に移動し[Space]キーで“On”を選択します。
7. [Enter]キーによりよりポートステータス(Port Status)画面に移動します。
8. any キーでリフレッシュを止めた後、[ESC]キーによりメインメニュー画面に戻ります。

2.4 VLAN 設定 (VLAN Config)

本機では、1～8 ポートの最大 8 つのポートベース VLAN グループをサポートしています。

メニュー画面により、あるポートの VLAN グループの設定で、同じ VLAN グループに“*”マークを設定することで、その VLAN グループに設定することができます。あるポートに入ってきたパケットは、そのポートが入っている VLAN グループ内のポートにのみパケットの転送を行うことができます。

```

                                VLAN Configuration
                                =====
                                Port : 8  7  6  5  4  3  2  1
                                -----
>>1                                [*] [ ] [*] [*] [ ] [*] [ ] [*]
   2                                [ ] [*] [ ] [ ] [ ] [*] [ ] [*]
   3                                [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]
   4                                [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]
   5                                [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]
   6                                [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]
   7                                [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]
   8                                [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

Use Arrow or Tab key to move.<SPACE>to select.<ESC>to escape.<Enter>to confirm.

```

設定例:

上の画面では 1, 3, 5, 6, 8 番ポートを VLAN1 に、1, 3, 7 番ポートを VLAN2 に設定しています。

パケットが 1 番もしくは 3 番ポートから入ってきた場合、パケットは VLAN1 と VLAN2 に転送されます。従って、1, 3, 5, 6, 8 番ポート(VLAN1)と、1, 3, 7 番ポート(VLAN2)がパケットを受信します。

しかし、パケットが 8 番ポートから入ってきた場合、1, 3, 5, 6, 8 番ポート(VLAN1)のみがパケットを受信します。また、2 番ポートからパケットが入ってきた場合には、4 番ポートのみがパケットを受信します。

2.5 トランク設定 (Trunk Config)

本機では 2 つのトランクグループの設定が可能です。

[Enter]キーによりそれぞれのトランクグループを有効(Enable)にすることができます。1 番ポートと 2 番ポートは“Trunk A”に所属し、7 番ポートと 8 番ポートは“Trunk B”に所属します。

```

Port Trunking Configuration
=====

>> Trunk_A : Disable
    ( Port_1 Port_2 )

    Trunk_B : Disable
    ( Port_7 Port_8 )


Use Arrow or Tab key to move.<SPACE>to select.<ESC>to escape.<Enter>to confirm.

```

項目	機能
Trunk_A	TrunkA(1、2 番ポート使用)の有効(Enable)/無効(Disable)が設定できます。 初期設定:Disable
Trunk_B	TrunkB(7、8 番ポート使用)の有効(Enable)/無効(Disable)が設定できます。 初期設定:Disable

設定例:

1. [Enter]キーを押し設定画面に入り、[Space]キーにより Trunk A もしくは Trunk B を有効(enable)にすることができます。
2. [ESC]キーによりメニュー画面に戻ります。

 ポートミラーとポートトランク機能は同時に有効にすることができません。

2.6 ポートミラーリング設定 (Mirror Config)

本機では、特定のポートの通信を監視するためのポートミラーリング機能を有しています。ポートミラーリング機能を使用するためには、ソースポート、ターゲットポート、ミラーモードを設定します。

```

Port Mirror Configuration
=====

>>  Mirror Mode : Disable

Source Port : 1

Target Port : 1

Use Arrow or Tab key to move.<SPACE>to select.<ESC>to escape.<Enter>to confirm.

```

項目	機能
Mirror Mode	ミラーリング機能の Ingress/Egress/Disable が設定できます。 初期設定: Disable
Source Port	ミラーリングのソースポートを選択します。 初期設定: 1
Target Port	ミラーリングのターゲットポートを選択します。 初期設定: 1

設定例:

1 番ポートで受信するパケットを 8 番ポートで監視する場合、下記の手順で設定を行います。

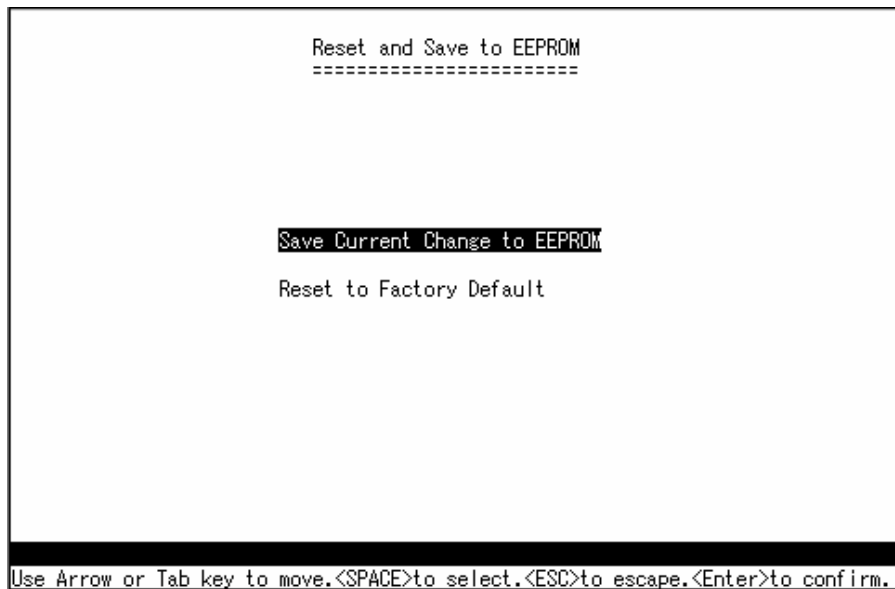
1. [Enter]キーを押し、ミラーモードを Ingress にします。
2. [Tab]キーを押し、その後[Enter]キーを押しソースポートとして 1 を選択します。
3. [Tab]キーを押し、その後[Enter]キーを押しターゲットポートとして 8 を選択します。
4. [ESC]キーによりメニュー画面に戻ります。

1 番ポートを“ソースポート”とし、8 番ポートを“ターゲットポート”とした場合、1 番ポートを通過する全てのパケットが 8 番ポートに複製されます。8 番ポートに監視用の PC などを接続し管理ツールを利用することにより、システム管理者がパケットの分析を行うことができます。

 ポートミラーリングとポートランク機能は同時に有効にはできません。

2.7 リセット・セーブ (Reset and Save)

本機では、設定の保存と復元、また初期設定への復元を行うことができます。
それぞれの項目を[Tab]キーで選択し、[Enter]キーを押すことで実行されます。



項目	機能
Save Current Change to EEPROM	設定を EEPROM に保存します。
Reset to Factory Default	全ての設定値を工場出荷時設定に戻します。リセット中は通信が切断されます。

ES1008V マネージメントガイド

2005 年 4 月 初版

- ・本ユーザマニュアルは、FXC 株式会社が制作したもので、全ての権利を弊社が所有します。弊社に無断で本書の一部、または全部を複製/転載することを禁じます。
- ・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますが、ご了承ください。
- ・ユーザマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

(FXC05-DC-200005-R1.0)